

案件1 令和8年度予算編成状況について(財務部)

<概要>

令和8年度予算編成状況について報告

- ・一般行政経費(経常分)の予算要求額は枠配分額内に収まった。
- ・一般行政経費(臨時分)と投資的経費は大幅な削減が必要である。
- ・当初予算の総額は過去最大となる見込みである。
- ・予算査定は例年どおりの方法で行うが、特に不用額の調査結果に基づき、不用額が多い事業については予算削減等の対応を求めることになる。
- ・大規模事業については、事業の全体像や後年度への負担を含めて判断する。

<会議での結論>

了承

【主な意見】

- ・予算額の積算根拠を再度確認してほしい。また、財源について担当課とともに見つけていきたい。
- ・物価高騰等の影響もあり、過去最大の予算額となる傾向は今後も続くと思われる。大幅な予算額の削減が必要となるが、特に老朽化した施設や設備の改修にあっては気象や環境等の変化に留意しながら、市民生活に大きな影響がでないように留意されたい。また、各施設のあり方は中長期的に変わるので抜本的に考える必要がある。多様な手段による財源の確保については、国からの補助金に留まらずクラウドファンディングを活用するなど、企画政策課と協議しながら事業担当課においてもこれまで以上に意識されたい。

案件2 その他

<概要>(経営企画部)

大阪・関西万博2025のプロジェクトチームから報告

- ・主に万博の参加意欲等を高めるための機運醸成の取組、会場催事を行った。
- ・万博奈良県実行委員会に参加し、春秋に会場出展を行った。出展にあたり、若手職員のワーキンググループを市内公募、企画や関係者との調整、現地スタッフとして取組を進めた。
- ・万博首長連合が主催するローカルジャパン展ではお茶文化に関わる4つの市として連携して茶釜のPRを行ったほか、市内企業が繋いでいただいた対馬市とのご縁から両市の中学生が学習成果を発表する場も生まれた。
- ・本市の認知度向上や観光客誘致に一定の成果があったと考えている。
- ・万博での出展を契機に観光客をはじめとする来訪者や関係人口の創出、移住や定住促進について各部の協力をお願いしたい。

<会議での結論>

了承

【主な意見】

- ・良い成果が出たと感じている。若手の職員が公務員として働く楽しさや喜びを感じられたことも大きい。けいはんな学研都市はポスト万博シティを推進しており、本市としても観光、移住や定住の分野を中心に万博のレガシーをしっかりと生かしていかなければならない。